

単独開催では初の来場2万人超

MACS展

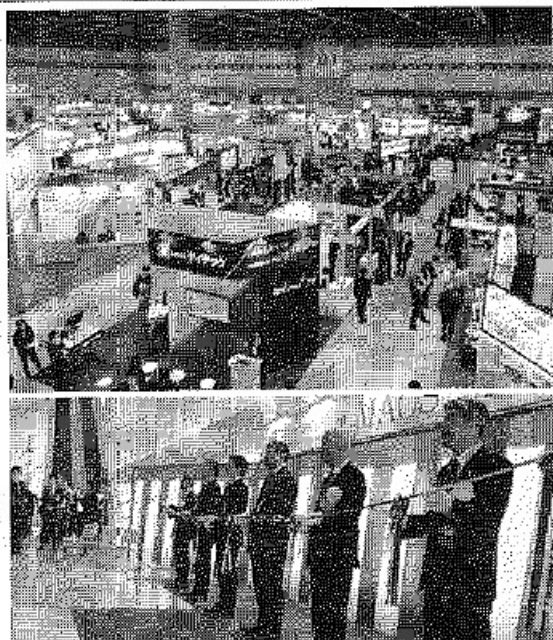
ダクト、配管、保温の専門工事3業界と総合設備工事業界の祭典、第15回スマート空調衛生システム展「MACS2023」が14日閉幕した。6年ぶりの開催である今回は、単独開催移行後では初となる2万人超の来場者を集めた。業界では現在、新たな繁忙期を迎える一方、人手不足、物価高騰など需要拡大を手放しで喜べない課題が山積しており、これらへの解答を求め東京ビッグサイトに足を運ぶ動きが強まった。3・4面に会場レポート記事

課題解決策求め連日盛況

の展示会に比べて専門性が高く、ブース来訪者の

3日間の開催期間中、東京ビッグサイト南1ホールは連日盛況だった。来場者数が2万人を超えたのは、本展が単独での開催に移行してから初めて。大手総合設備工事会

社が新入社員研修対象に本展を設定したことも増加要因だが、専門工事3業界関係者とみられる人々の姿も非常に多かったことも来場者記録の更新に繋がった模様。



①連日盛況となった会場、②開会式テープカットの様子

数を決めたが、初日で無くなってしまう、翌朝、会社から追加分を持ち込んで対応したなど、予測を超える盛況に驚く声が多く聞かれた。また「MACS展は、他



View ダクト歴史資料館が有終の美

史上最多の来場者を記録したMACS2023——主催3団体がひとつ（一社）全国ダクト工業団体連合会による展示「ダクト歴史資料館」は、今回を最後に惜しまれつつも閉館となった【関連記事3面】。ダクト工事業の創設期から現代迄の歴史を振り返り、工作機械メーカーの試行錯誤・企業努力の歴史等を展示する本館は、「ダクト100年の歴史」の資料展として2013年10月にJFEグループの東日本製鉄所京浜地区（川崎市川崎区）の多目的展示場内にて開館。後進育成への活用、次代を担う若年入職者の確保のための業界PRも目的に、貴重な歴史的資料（現物）を中心とした展示を続けてきたが、加速するインターネットの発展を受け、ネット上での情報発信へと切替える時期が到来し現物を用いた展示はその役割を果たしたと判断、惜しまれつつも閉館となった。

えい者の約8割が過去7回（平成27年度〜令和3年度）にわたり報告している。また過去7回の報告では、前年度から継続して特定漏えい者となっている事業者が約9割を占める。なお冷媒区分別では、令和2年度から算定漏えい量はHFCが特定フロン（CFC、HCFC）よりも多く、実漏えい量ベースでも令和3年度、HFCがHFCFCを初めて上回った。特定事業者の漏えい量が特定漏えい者の漏えい量全体に占める比率は、過去7回で23.29%程度。1事業所あたり平均算定漏えい量は平成27年度以降やや減少していたが、令和3年度は2千700t-CO₂程度と増加し

た。冷媒区分別では、特定事業者ではCFCの割合が特定漏えい者全体と比較して大きい。令和3年度の算定漏えい量は特定フロンが約6割を占めている。なお同制度は、管理する業務用冷凍空調機器からフロン類を相当程度多く漏えいした者（特定漏えい者）算定漏えい量が年間1千t-CO₂以上の者）に、算定したフロン類の漏えい量を国に報告することを義務付け、国が報告された情報を集計・公表する制度。

本号6面

- ★MACS2023会場レポート（3・4面）
- ★CO₂冷凍機多量設置の仙台宮城野郎町物流施設が稼働（2面）
- ★医療向け空調機の開発・検証プロジェクトが参加企業を募集（5面）
- ★NEWS（6面）

期の「始まりの年」となっている。ただし、仕事量が増える一方、人手不足

物価高騰、法対応経費の増大など採算性圧迫要因も増えており、仕事を請ける側は手放しで喜べない環境となっている。DXを含めた生産性の向上によって、これらリスクを低減し、確実に収益に結び付けたいとする二一スが業界に広がっており、この解決策を求める動きが、今回の盛況に繋がったと考えられる。

蒸気加湿で快適空間

Humidasduo

●場所を選ばない移動式蒸気加湿器

者プレゼンテーションへも参加し、同社製品のPRを行った。プレゼンは開催初日の12日に同社、東京営業本部企画営業支援室の笹田拓実氏が「拾わない拾い設備積算でのIFCデータ活用」と題して実施し、空調設備会社等に向けて特に導入の検証などを披露。足元の現状だけではなく、将来への移行や今後の業界での進化を含めた対応策としても訴えた。

シーケー金属

シーケー金属(社長II 釣谷宏行氏、本社・富山県高岡市)はMACS2023に出展。フレアマシン関連製品(パイプシェーパー・フレアマシンIII・IHパイプヒーター)を管理するプラットフォーム「Gemastation」(ゲンバステーション)を紹介した。両ソフトウェアの必要性と有用性について会期中の3日間、全3部構成となる出展者プレゼンテーションを実施。元請け会社側のシステムと下請け会社側のシステムの相違点に触れ、中小下請け専門工学会社にとって真に必要な業務改善システムの在り方を訴求した。



「建設タウン」のモニター画面を紹介

「ト」を介した。ほかに、積算や見積書作成の効率化に資する積算拾い・見積ソフト「見積CRAFITD」も出品した。

PSは、いつでも在庫検索や発注が可能でシステムで、同社顧客の卸売業者向け。「OPS PRO」はサブコンが現場で発注する配管資材に特化した。現場で必要となる配管資材に絞って発注できるようにして、おり商品を運びやすい。また第三者の注文明細を確認できるほか、現場の工期と納入総額が確認できるた

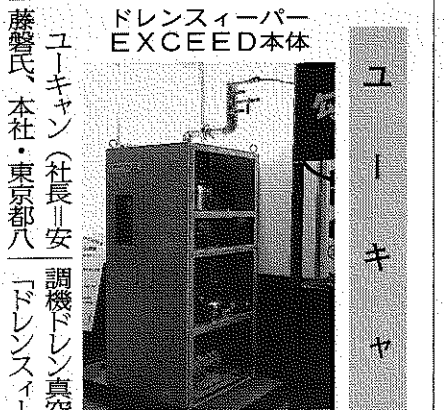
C.H.C.システム

C.H.C.システム(社長II 渋谷俊彦氏、本社・東京都町田市)はMACS2023で、自社開発のCO₂センサー・コントローラーを展示し、実際に会場のCO₂濃度を計測したものをブ



最終IAQ 室内空気環境の遠隔監視・遠隔制御

ユーキヤン(社長II 安藤氏、本社・東京都八王子市散田町)は、MACS2023にて同社が展開している空調機ドレン真空吸引装置「ドレンスィーパー」の



ドレンスィーパー EXCEED本体

ユーキヤン(社長II 安藤氏、本社・東京都八王子市散田町)は、MACS2023にて同社が展開している空調機ドレン真空吸引装置「ドレンスィーパー」の

る室内空気環境を遠隔監視して改善をサポートするクラウドサービス「Ultimate IAQ」とCO₂・オゾンセンサー・コントローラーを用いた室内空気環境の改善プロセスとして、センサーから得た情報をスマホ・PC等で監視しつつ、それを元にオゾン発生器や換気扇を自動制御し、臭いやCO₂濃度を上昇を抑えるシステムII写真IIを展示し紹介した。

新モデルである「ドレンスィーパーEXCEED(エクシード)」の実機を展示し、従来機から処理能力を大きく向上し加湿器に対応した新型大型機種である同製品の、敷設やメンテナンスの省力化に資する性能を紹介した。同社ブースでは、同製品と同社の気化式加湿器、空調機を用意し、実際に接続しつつ、ドレン吸引の様子を紹介。また勾配不要かつチューブによる自由自在なドレン配管によって敷設の大幅な省力化を実現する同製品の特長も紹介した。なお同製品は近日発売を予定している。

総業

PSは、いつでも在庫検索や発注が可能でシステムで、同社顧客の卸売業者向け。「OPS PRO」はサブコンが現場で発注する配管資材に特化した。現場で必要となる配管資材に絞って発注できるようにして、おり商品を運びやすい。また第三者の注文明細を確認できるほか、現場の工期と納入総額が確認できるた

グラスウール断熱材

ミヤデラ断熱

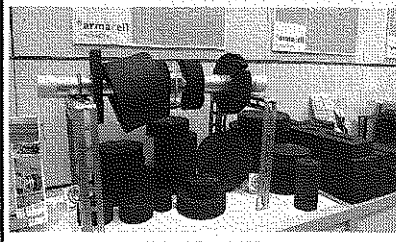
加工が可



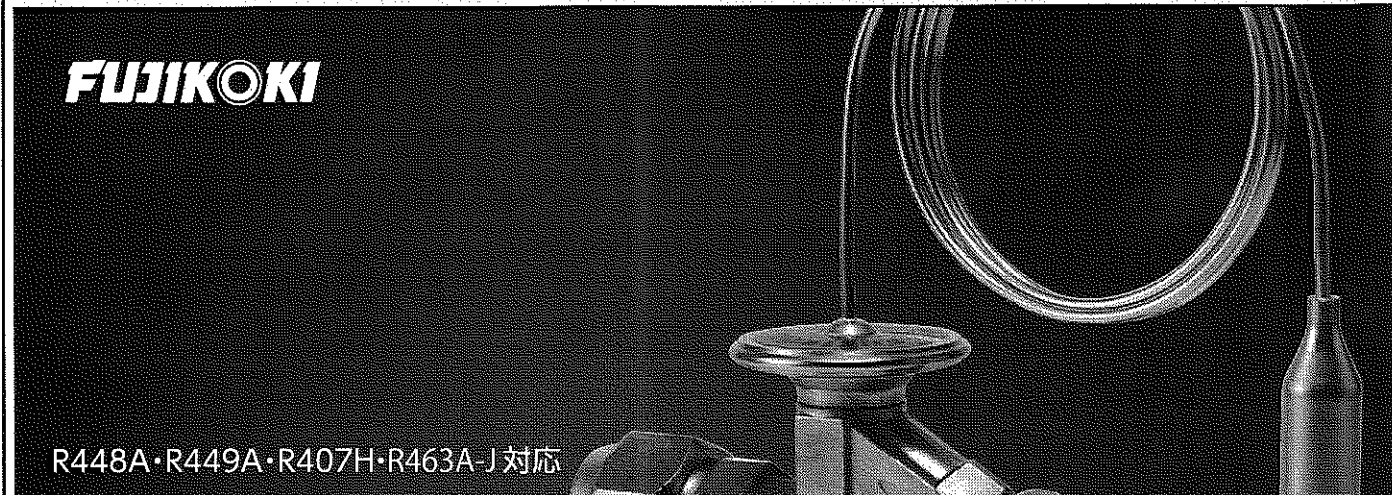
グラスウール断熱材

ミヤデラ断熱

Armacell Japan



加工が可



FUJIKOKI

R448A・R449A・R407H・R463A-J対応